

# ひたむきにボールを追い続けた 「青島バレー」

## 50年の歴史に幕

平成19年6月。青島中学男子バレーボール部にとって、今季が最後の大会出場となりました。今大会で3年生が引退し、生徒数の減少により部員数が不足するからです。

これまで青島の島民みんなが愛してきたバレーボールですが、今大会で青島のバレーボールのチームはなくなってしまいました。

青島の人にとって「バレーボール」とはどんな存在だったのでしょうか。

今月号では、<sup>\*</sup>青島バレーに携わった島民の皆さんの思いなどを紹介します。

※この特集では、青島でのバレーボール（中学男女、小学生のバレーボール）を総称して「青島バレー」と呼びます。



# 青島はバレーボールの島

青島バレーの歴史をたどると、青島中学校が御厨中学校青島分校から独立した昭和32年からの中学男子バレーボール部の記録を見つけることができました。生徒数の関係からか、その当時から、スポーツはバレーボール一本に絞って力を入れて取り組んできています。

当時のバレーボールは、屋内競技ではなかったため、運動場で練習をしていたそうです。その後、中学男子バレーボール部に続き、中学女子バレーボール部、小学女子バレーボール「青友クラブ」も結成され、青島バレーがますます盛んになっていきました。

## 少人数で好成绩

中学校のバレーボールが始まったころは生徒も多くいましたが、徐々に人数が減少。そんな少人数な部でしたが、大会ではいつも上位に入る実力でした。

### 【中学バレー部】

男子は、昭和32年からの中総体の結果が確認できただけで、20回以上の優勝と、約10回の準優勝の結果を残しています。女子は、昭和36年から部が結成され、数々の大会で好成绩を収めていました。

### 【青友クラブ】

昭和60年4月、青島小学校に赴任した田中輝久さん（現上志佐小学校校長）が小学女子バレーボール部を結成。バレーボールを通して輪を広げようという思いを込めて「青友クラブ」と名付けられ、市内外の大会に出場し、好成绩を収めていました。

バレーボールの大会での活躍を物語る優勝の賞状や盾の数々



青友クラブ▶  
(平成2年)  
中学男子◀  
(昭和63年)  
中学女子▼  
(平成16年)



## 厳しい練習で 根性がつきました



### 新屋 ナツエ さん (星鹿・青島、58歳)

私が中学生になったときに女子バレーボール部が結成され、私もバレーボール部で頑張りました。

そのころの練習場所は、室内ではなく運動場。レシーブできるまで投げられるボールにくらいつきながら、ひざからは血を流し、ボールが取れないと悔し涙を流しながら、毎日練習に励んだものでした。

その練習は、「郵便まーちゃん」(次のページで紹介)から受けた指導。とても厳しい練習でしたが、愛のある指導で、根性をつけさせてもらったいい経験です。



青島中学男子バレーボール部が 県中学校総合体育大会 (昭和47年、佐世保市開催) に出場した時の様子 (写真提供：寶田克也さん)